

第 **79** 期

株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日

YAHAGI



企業
理念

「誠実・進取・創造」

誠実進取で自ら創造し、常に社会の要請にこたえる事業を行う

経営
理念

建設エンジニアリングによる
価値創造を通して、
従業員の自己実現と
企業の持続的成長を目指す

Contents

株主の皆様へ	1
連結業績ハイライト	2
連結財務指標	3
連結財務諸表	4~6
配当政策について	6
単体ハイライト	7
完成工事のご紹介	8~9
施工中物件のご紹介	10~11
トピックス	12~15
会社の概要・株式の状況	16
矢作建設グループについて	17

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

矢作建設グループ第79期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の事業の概況と業績等につきまして、ここにご報告申し上げます。

当社グループは経営理念である「建設エンジニアリングによる価値創造を通して、従業員の自己実現と企業の持続的成長を目指す」に基づき、建設・不動産に関するあらゆる分野において、お客様に有用な技術や商品、サービスを提供することで、経営基盤の強化と安定した収益の確保を図ってまいりました。

引き続き、建設事業及び不動産事業の両分野におけるエンジニアリングを推進し、社会やお客様のニーズに応える技術やサービスを開発、提供することで、収益の確保を図ると共に将来に向けた持続的成長を追求してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月



取締役会長 藤本和久

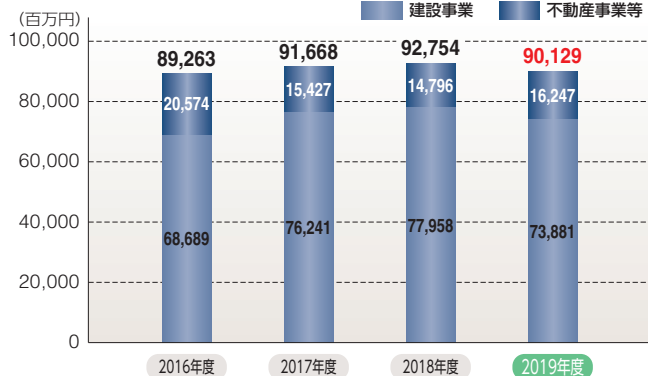


取締役社長 高柳充広

当期は、比較的工事期間が短く施工生産性の高い鉄骨造の建築工事が減少したことから建設事業では減収となり、一方で不動産事業等では自社開発の大規模工業団地の販売により増収となりましたが、売上高全体としては前期を下回る901億29百万円(前期比2.8%減)となりました。

利益につきましては、売上高の減少があったものの、建築工事の利益率が改善したことなどにより、営業利益は77億64百万円(前期比0.8%増)、経常利益は78億29百万円(前期比1.1%増)と7期連続で最高益を更新し、親会社株主に帰属する当期純利益も51億58百万円(前期比15.2%増)とこちらも過去最高益を更新しました。

■ 売上高



■ 営業利益



■ 経常利益



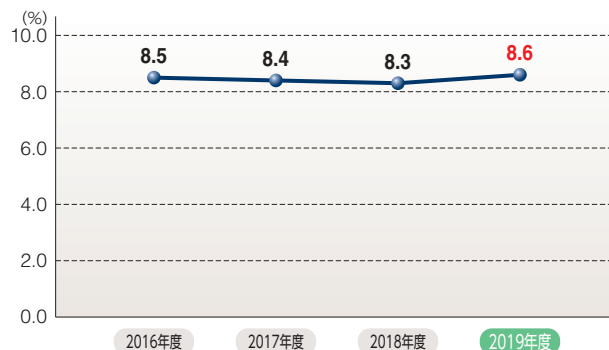
■ 親会社株主に帰属する当期純利益



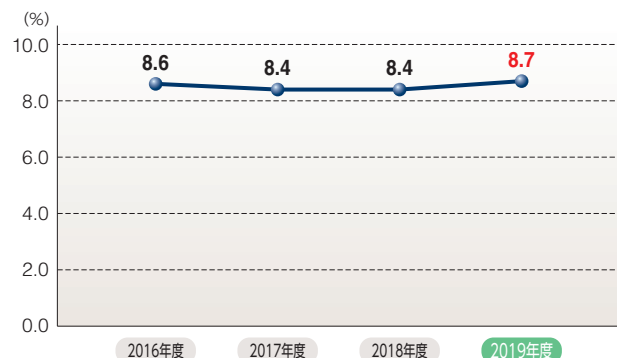
■ 売上総利益率



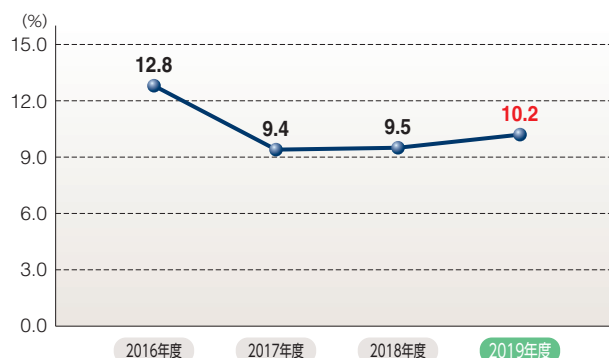
■ 営業利益率



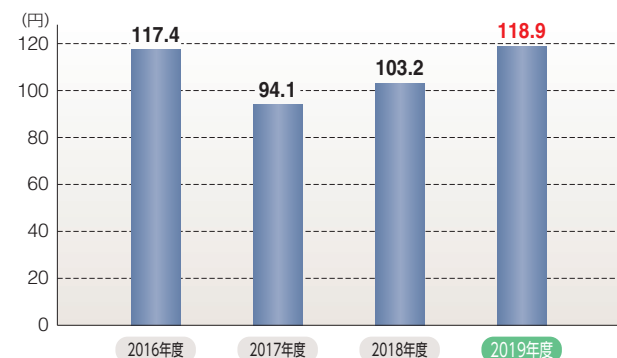
■ 経常利益率



■ 自己資本当期純利益率 (ROE)



■ 1株当たり当期純利益 (EPS)



■ 1株当たり純資産 (BPS)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期	当 期	前 期	増 減
		2020年3月31日現在	2019年3月31日現在	
(資産の部)				
流動資産		70,886	70,053	833
現金預金		13,776	14,067	△291
受取手形・完成工事未収入金等		33,336	32,981	355
未成工事支出金		6,085	3,861	2,224
販売用不動産		15,624	18,153	△2,528
その他		2,152	1,080	1,071
貸倒引当金		△88	△90	2
固定資産		36,305	36,443	△138
有形固定資産		27,707	27,129	578
建物・構築物		7,641	6,933	707
土地		19,465	19,248	216
その他		601	947	△346
無形固定資産		476	365	111
投資その他の資産		8,121	8,949	△827
投資有価証券		4,741	5,473	△732
繰延税金資産		1,980	2,027	△47
その他		1,448	1,530	△82
貸倒引当金		△48	△82	34
資産合計		107,191	106,496	695

科目	期	当 期	前 期	増 減
		2020年3月31日現在	2019年3月31日現在	
(負債の部)				
流動負債		40,495	42,698	△2,202
支払手形・工事未払金等		11,672	14,231	△2,558
短期借入金		20,517	17,829	2,687
未払法人税等		1,107	1,422	△315
未成工事受入金		4,904	3,611	1,292
引当金		573	539	33
その他		1,720	5,062	△3,342
固定負債		14,649	15,048	△398
長期借入金		5,540	5,907	△367
退職給付に係る負債		5,083	5,181	△98
その他		4,025	3,958	66
負債合計		55,145	57,746	△2,601
(純資産の部)				
株主資本		57,528	53,761	3,767
資本金		6,808	6,808	—
資本剰余金		7,244	7,244	—
② 利益剰余金		44,052	40,285	3,767
自己株式		△576	△576	△0
その他の包括利益累計額		△5,487	△5,016	△471
その他有価証券評価差額金		602	1,140	△537
土地再評価差額金		△5,882	△5,882	—
退職給付に係る調整累計額		△208	△275	66
非支配株主持分		6	6	0
② 純資産合計		52,046	48,750	3,296
負債及び純資産合計		107,191	106,496	695

ポイント

営業利益及び経常利益が7期連続で過去最高益を更新(①)

当期の営業利益及び経常利益は、7期連続で過去最高益を更新しました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、3期ぶりに過去最高益を更新しております。

自己資本比率が8期連続で向上(②)

親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が増加し、当期の純資産は大きく増加しました。これにより自己資本比率は、前期に比べ2.8ポイント上昇して48.6%となり、8期連続で過去最高を更新しました。

来期以降の収益について

当期は、建築工事の受注高が大きく伸長し、土木工事を含めた次期繰越工事高は約900億円と過去最高額となりました。

これら次期繰越工事は、来期(2021.3期)以降、順次施工が本格化してくる予定であり、収益計上への貢献が見込まれます。

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期	当期	前期	増減
		自2019年4月1日 至2020年3月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日	
売上高		90,129	92,754	△2,625
完成工事高		73,881	77,958	△4,076
不動産事業等売上高		16,247	14,796	1,451
売上総利益		16,300	16,509	△208
完成工事総利益		11,457	11,738	△280
不動産事業等総利益		4,842	4,770	71
販売費及び一般管理費		8,536	8,804	△268
① 営業利益		7,764	7,705	59
営業外収益		187	153	34
営業外費用		122	110	11
① 経常利益		7,829	7,747	81
特別利益		1	148	△146
特別損失		247	951	△704
税金等調整前当期純利益		7,584	6,945	639
法人税等		2,425	2,468	△42
①② 親会社株主に帰属する当期純利益		5,158	4,476	681

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期	当期	前期
		自2019年4月1日 至2020年3月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
キャッシュの期首残高		13,677	13,937
① 営業キャッシュ・フロー		631	△4,912
② 投資キャッシュ・フロー		△1,640	△3,104
③ 財務キャッシュ・フロー		918	7,756
①～③ 計		△91	△259
キャッシュの期末残高		13,586	13,677

■ 連結株主資本等変動計算書

(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	計		
当期首残高	6,808	7,244	40,285	△576	53,761	1,140	△5,882	△275	△5,016	6	48,750
当期変動額											
剰余金の配当			△1,388		△1,388						△1,388
親会社株主に帰属する当期純利益			5,158		5,158						5,158
自己株式の取得				△0	△0						△0
その他			△2		△2						△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	△537		66	△471	0	△471
当期変動額合計	-	-	3,767	△0	3,767	△537	-	66	△471	0	3,296
当期末残高	6,808	7,244	44,052	△576	57,528	602	△5,882	△208	△5,487	6	52,046

配当政策について

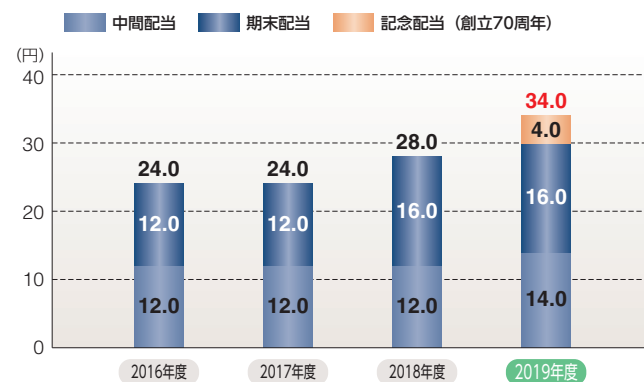
■ 配当方針

当社は、経営基盤の強化と企業価値の向上に向けて、長期的な視点に立って株主資本の充実に努めるとともに、企業収益の配分については、株主への安定的な配当を継続実施することを基本方針としております。

■ 配当金

当事業年度の期末配当金につきましては、1株につき、18円(普通配当16円、記念配当2円)とさせていただきます。これにより当期の1株当たりの年間配当金は、2019年11月28日実施済みの中間配当金1株につき16円(普通配当14円、記念配当2円)と合わせて34円(普通配当30円、記念配当4円)となります。

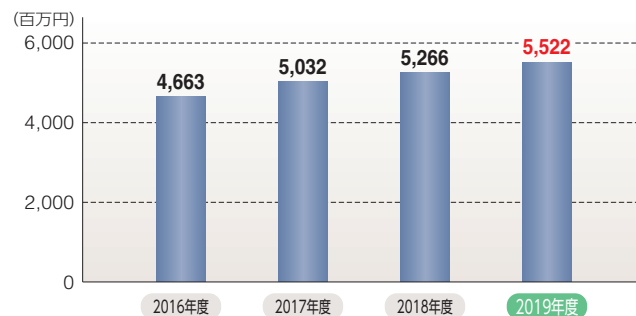
■ 配当金の推移



■売上高



■営業利益



■経常利益



■当期純利益



■貸借対照表

科目	当期 2020年3月31日現在
(資産の部)	
流動資産	64,332
固定資産	30,692
有形固定資産	11,223
無形固定資産	341
投資その他の資産	19,127
資産合計	95,024

(単位:百万円)

科目	当期 2020年3月31日現在
(負債の部)	
流動負債	38,462
固定負債	11,025
負債合計	49,488
(純資産の部)	
株主資本	50,517
評価・換算差額等	△4,981
純資産合計	45,536
負債及び純資産合計	95,024

■損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 自2019年4月1日 至2020年3月31日
売上高	75,648
売上総利益	10,950
販売費及び一般管理費	5,427
営業利益	5,522
経常利益	6,593
税引前当期純利益	6,342
当期純利益	4,585

完成工事のご紹介



R & B ホテル則武二丁目計画
施工場所:愛知県名古屋市中村区
発注者:ワシントンホテル株式会社



マストスクエア榎木町新築
施工場所:愛知県名古屋市東区
発注者:積水ハウス不動産中部株式会社



大宝運輸 東郷町基地新築
施工場所:愛知県愛知郡東郷町
発注者:大宝運輸株式会社



中部スカイサポート 社員寮新築
施工場所:愛知県常滑市
発注者:中部スカイサポート株式会社



東京インテリア家具 瑞穂店新築
施工場所:岐阜県瑞穂市
発注者:株式会社 東京インテリア家具



勝浦メガソーラー発電所建設 施工場所: 千葉県勝浦市
発注者: 東洋エンジニアリング株式会社



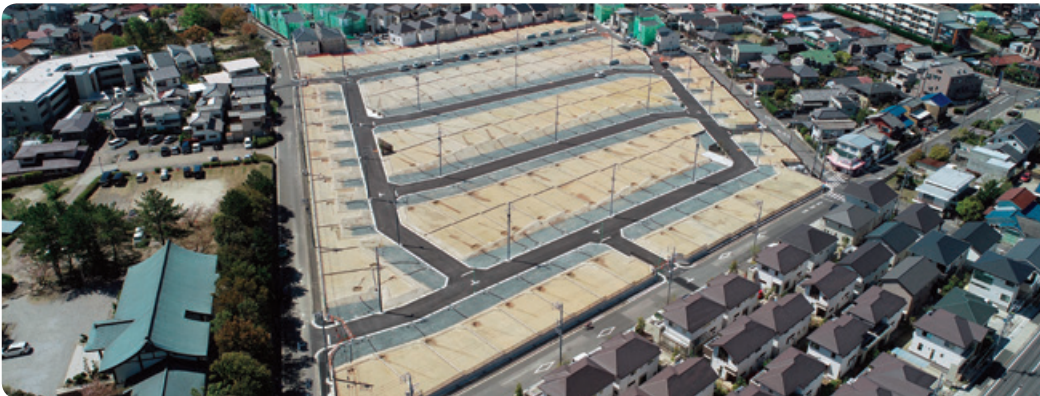
平成29年度 東海環状高富IC南部道路建設 施工場所: 岐阜県山県市
発注者: 国土交通省 中部地方整備局



名古屋本線・常滑線 神宮前駅改良 施工場所: 愛知県名古屋市熱田区
名古屋本線・常滑線 神宮前駅構内PCマクラギ化 発注者: 名古屋鉄道株式会社



市道甲西駅美松線道路改良(パンウォール) 施工場所: 滋賀県湖南市
発注者: 株式会社 奥田工務店



ミタステラス 宅地造成
施工場所: 愛知県名古屋市長区
発注者: J R西日本プロパティーズ株式会社

施工中物件のご紹介

●伊勢市駅前再開発

当プロジェクトは、JR・近鉄伊勢市駅前地区において、医療、商業施設など都市機能に必要な施設の集約を通じて、まちなか活性化・利便性の向上を図るものです。

伊勢市の玄関口に相応しい新たなランドマークとなる本建物は、地域の人々の“暮らしやすさ”、“働きやすさ”等を追求した、サービス付き高齢者住宅や共同住宅、公益施設、医療・商業施設、駐車場といった様々な用途で構成され、賑わいのある街づくりが期待されております。

これらの施工実績がある当社は、そのノウハウを駆使し、公募型プロポーザル方式(※)において、当開発のコンセプトを踏まえた質の

高い提案を行い、協力事業者に選定されました。2021年の春オープンに向けて、持てる技術を最大限に活かした施工を進めております。

※公募型プロポーザル方式:

地方自治体などが事業者を選定する入札方式の一つ。

民間事業者は定められた要件に対して提案書を作成・提出。

地方自治体は、提案内容や価格などを総合的評価し受託者を決定する方式。

【工事概要】

発注者：伊勢まちなか開発株式会社

施工場所：三重県伊勢市

工期：2019年6月17日～2021年1月15日

工事概要：鉄骨造 12階建

延床面積：13,985.37㎡

(予定)

11, 12階	共同住宅
9, 10階	サービス付き高齢者住宅
5～8階	公益施設
2～4階	駐車場
1階	医療・商業施設

▲建物用途



▲完成予想図



▲施工風景

● 刈谷市今川町造成

当プロジェクトは、愛知県刈谷市に拠点を置く企業の所有地(約27,000㎡)の再開発事業で、1960年代後半に建設された同社の宿泊及び研修施設を解体・造成し、生まれ変わらせるものです。

2018年12月に解体工事に着手し、約1年間を費やして建物を取り壊しました。

主要道路に隣接する住宅地の中での開発工事であり、騒音や振動はもとより粉塵や残土の徹底した管理等、周辺環境に細心の注意を払いながら、当社がこれまで工業団地や宅地の造成工事で培った技術やノウハウを活かし、施工を進めております。

現在、2021年11月の完成に向け造成工事の最盛期を迎えており、今後も発注者並びに地域の皆様の期待に沿えるような魅力的な街づくりを目指して日々施工に注力していきます。

【工事概要】

発注者：アイシン開発株式会社

施工場所：愛知県刈谷市

工期：2018年9月13日～2021年11月30日

開発面積：26,705㎡



▲ 躯体解体前



▲ 施工風景

トピックス

■多発する災害に対する減災・防災分野での取り組み

■災害復旧活動への貢献

近年、東日本大震災をはじめ、大型台風や集中豪雨など、未曾有の自然災害が多発し、土砂崩れによる道路の通行止めや送電設備の破損による停電など、社会インフラに甚大な被害を及ぼしています。

このような状況下、減災・防災分野において、当社は独自技術である地山補強工法の「パンウォール工法」を全国展開し、20万㎡を超える採用実績を上げております。この工法は、土砂災害防止に有効であり、平成29年7月九州北部豪雨においては、周囲が大きく崩れる中、同工法の施工箇所は崩壊することなく、その性能を十分に発揮しました(左上写真)。



▲平成29年7月九州北部豪雨時のパンウォール工法の施工箇所



▲平成30年7月豪雨時の東海北陸自動車道の法面復旧工事状況①

一方、災害復旧活動では、当社は平成30年7月豪雨により通行止めとなっていた東海北陸自動車道の法面復旧工事を担い、早期の通行止め解除に貢献しました。また、令和元年台風第19号の際は、迅速に人員・資機材等を手配し、地域の災害復旧に対応しました。

今後も、社会インフラを支える企業として、老朽化や自然災害に対して減災・防災に関する研究開発・施工管理や災害復旧活動を通じて、社会的責任を果たしてまいります。

パンウォール工法の特長

1. 有効な土地活用
急勾配化(垂直~5分)により、斜面上下の有効な土地活用が可能です。
2. 施工中の高い安全性
逆巻き施工により、上部構造物の保護と施工中の地山のゆるみ、崩壊事故を防止します。
3. 品質向上と工期短縮
表面工のプレキャスト化により、品質の向上と工期短縮・省力化が可能です。
4. ライフサイクルコスト低減
高い耐久性とメンテナンスフリーにより、長期的なライフサイクルコストを低減します。
5. 優れた耐震性を実現
表面工及び補強材の高い強度により、優れた耐震性を実現します。
6. 景観に配慮
プレキャスト板の擬石模様により、景観に配慮します。



▲平成30年7月豪雨時の東海北陸自動車道の法面復旧工事状況②

■ i-Construction (アイ・コンストラクション) 大賞の受賞

当社は、施工管理におけるCIMシステム(※)の積極的な活用が評価され、国土交通大臣より2019年度i-Construction大賞「優秀賞」を受賞しました。この表彰は、建設現場の生産性向上に向けたICT(情報通信技術)の活用面で優れた取り組みを行った企業等に対して贈られるものです。

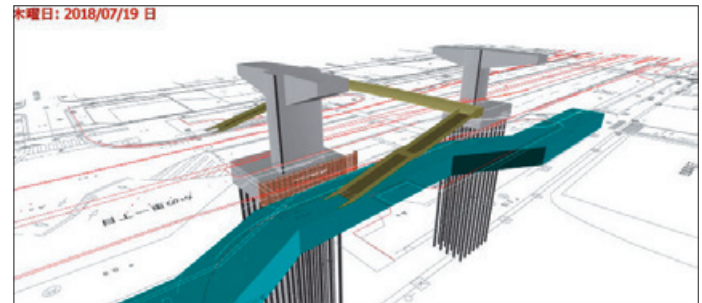
今回受賞対象となった「平成28年度 名二環かの里1交差点南下部工事」では、交差点と道路に囲まれ工事区域が狭いことに加え、上空には歩道橋、地下には共同溝が近接する厳しい条件下、CIMシステムを活用した3次元モデルの作成により、地上や地中の既設構造

物や障害物等の見える化を図り、さらに時間軸を加えた4次元モデルを作成することで、施工場面ごとの状況把握やシミュレーションを可能としました。それらのモデルを関係先との協議に活用することで打合せを円滑に進めるとともに、作業員教育等にも利用し、安全・品質・工程管理の正確性の向上と業務効率化による生産性向上を実現しました。

今後もICTを積極的に活用し、施工管理能力の向上、生産性の向上、働き方改革の実現に向けて取り組んでいきます。

※CIMシステム：
3次元モデルを中心に関係者間で情報共有することで一連の建設生産システムの効率化・高度化を図るもの。

発注者	国土交通省 中部地方整備局
施工場所	愛知県名古屋市中川区
工期	2017年1月～2018年8月
工事概要	工事延長 L=50m 橋脚躯体工 1基 既製杭工 Φ800 L=39m 35本 仮設工 1式(仮締切工、特殊支保工)



▲4次元モデル写真



◀表彰状



▲完成写真

■ 研究開発への取り組み

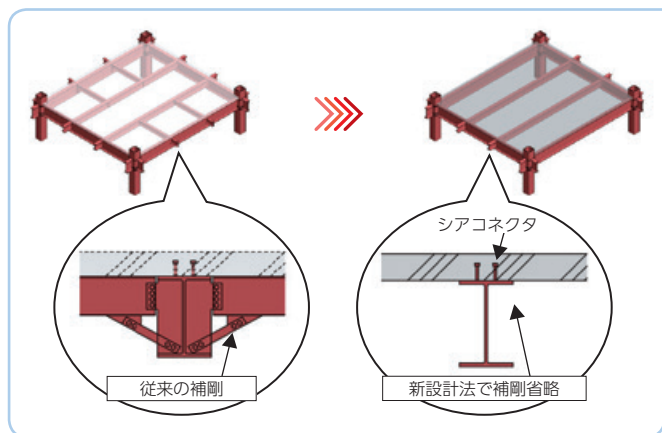
当社は、自社研究施設「エンジニアリングセンター」において、安全性や経済性、実用性を兼ね備えた社会にとって有用なモノや環境の創出に向けて、様々な技術開発に取り組んでいます。

現在、大型物流施設の受注競争力の強化に注力する中で、開発スピード向上を図るため、独自の研究開発だけではなく、他社との共同研究も柔軟に取り入れ、「YZ補剛工法」をはじめ、設計手法などの分野で成果を上げています。また、設計～施工～管理まで一貫して行う当社の強みを最大限に活かすため、BIMシステム(※)を整備し、「工事写真管理ソフト(フォトラクション)」の機能を利用するなど、設計・施工の連携強化を進めています。

さらに、建設技能労働者の減少や高齢化が進む中、建設業全体の課題である省力化・省人化に向けた取り組みとして、「AI画像解析による配筋検査」を活用するなど業務の効率化を推進しています。

今後、急速に進むIoT(モノのインターネット)やAI活用技術、循環型社会の実現などを見据えた長期的な目線の研究について、業界内における課題抽出や検証だけでなく、他業種との情報交換・データ蓄積も積極的に進めていくなど、幅広い分野で社会に貢献していきます。

※BIMシステム：
3次元化した図面に建物の属性情報を加え、一連の設計・施工・維持管理工程で業務効率化を図るシステム。



◀ 大型物流施設の受注に向けた競争力強化事例

大型物流施設向けの鉄骨小梁補剛設計法「YZ補剛工法」を開発しました。鉄骨梁に対して、シアコネクタという接合部材により、その上部に接合されている鉄筋コンクリート床による補剛効果を定量的に評価することに成功し、従来必要であった補剛材の省略やその接合部加工の省力化が可能になりました。

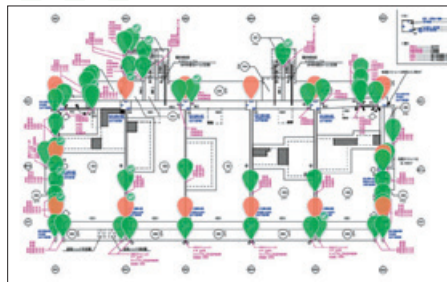
▼ BIMシステム活用事例

設計BIMデータと工事写真管理ソフト(フォトラクション)を連動し、施工管理業務を大幅に効率化しました。フォトラクションを活用することで、設計BIMデータと現場情報を一元管理でき、リアルタイムに関係者と情報共有されるため、各部門間の伝達スピード向上につながりました。

設計BIMデータ



工事写真管理ソフト (フォトラクション)



現場で設計BIMデータを容易に把握できる

■不動産開発への注力

近年、不動産開発は、土地価格・建設費用の上昇により、「用地取得＋新築→売却」という既存の開発モデルから、多様なスキームへの変換が求められております。そのような状況の中、当社グループの矢作地所株式会社では、安定的地権者から土地を長期賃借し、商業施設や住宅などを開発するスキームへの取り組みに注力しております。

その一例として2019年8月、名古屋の代表的な繁華街である「大須」に、新たな複合施設「MultinaBox(マルチナボックス)」を開発しました。その名のとおりに多様な店舗が揃っており、いちご飴やトル

ネードポテトなど流行の先端をいく飲食店やパソコン専門店、アニメ・フィギュア専門店などが出店、さらに、屋上にはスペイン発祥の新感覚ラケットスポーツ「パデル」のコートを配置しております。また、斬新なデザインが印象的な当施設は、多くのテレビ番組等にも取り上げられ、多様な文化が入り交じる大須の新たなシンボルとなっております。

引き続き、矢作地所はYAHAGIグループの総合力を活かしながら、同様の開発に取り組んでいくとともに、総合不動産会社としてさらなる発展に努めてまいります。



▲建物外観



▲Strawberry Fetish 大須店(いちご飴)



▲LONG!LONGER!!!LONGEST!!! 大須店(トルネードポテト)



▲パデル名古屋(パデルコート)

● 建設エンジニアリングによる新たな価値のご提案

私たちの考えるエンジニアリングとは、安全性や経済性、実用性を兼ね備えた社会にとって有用なモノや快適な環境をつくり出すことです。
この目的を追求していくために、これまで培ってきた建築、土木の専門的な技術や知識に加え、土地や資金、情報等の様々な要素を統合することで、建物のライフサイクルのあらゆる場面において、お客様のニーズを上回る付加価値を生み出していきます。

YAHAGI GROUP

LAND USE
土地活用

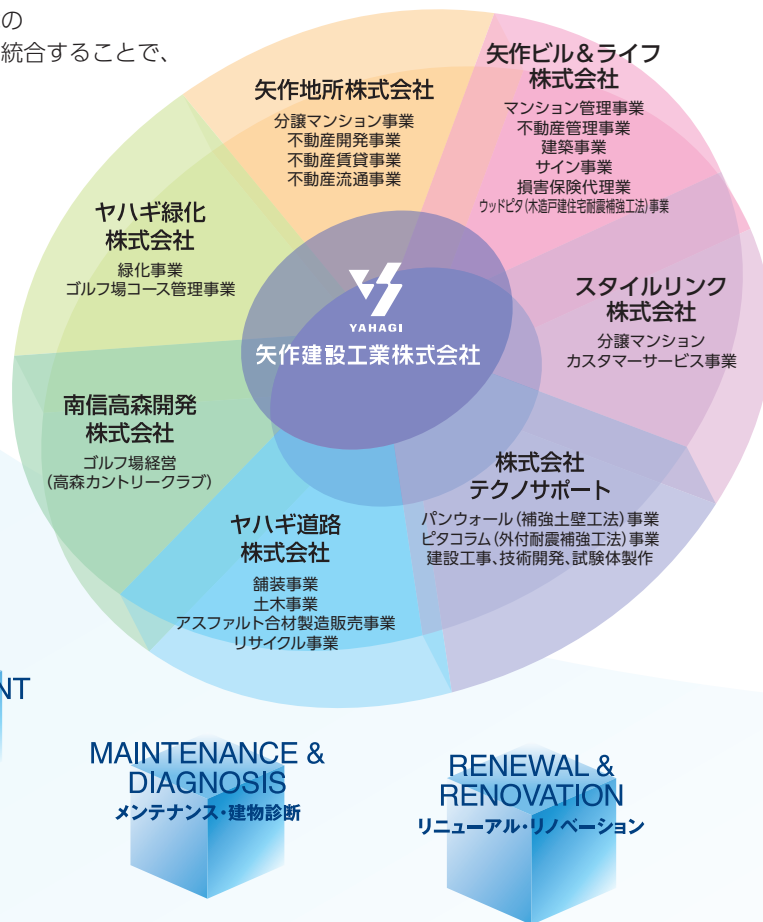
PLAN & DESIGN
企画・設計

CONSTRUCTION
施工

MANAGEMENT
建物管理

MAINTENANCE & DIAGNOSIS
メンテナンス・建物診断

RENEWAL & RENOVATION
リニューアル・リノベーション



会社名	住所	資本金	出資比率
矢作地所株式会社	愛知県名古屋市東区	800百万円	100%
矢作ビル&ライフ株式会社	愛知県名古屋市東区	400百万円	100%
ヤハギ緑化株式会社	愛知県名古屋市東区	100百万円	100%
株式会社テクノサポート	愛知県名古屋市東区	50百万円	100%

会社名	住所	資本金	出資比率
ヤハギ道路株式会社	愛知県豊田市	300百万円	100%
スタイルリンク株式会社	東京都中央区	50百万円	100%
南信高森開発株式会社	長野県下伊那郡高森町	50百万円	97.5% (内、間接所有66.5%)

ウェブサイトのご紹介

矢作建設グループのホームページをご紹介します。
当社の様々な情報を掲載しておりますのでぜひご覧ください。

【トップページ】 <https://www.yahagi.co.jp/>

矢作建設

検索



重要なお知らせ

IRニュース、プレスリリース、マスコミ掲載、イベント情報等をタイムリーに公開しております。

IR情報

財務ハイライト、決算情報、IRカレンダーなど投資関連情報を公開しております。

プロジェクト

当社が手掛ける代表的なプロジェクトの進捗状況等を紹介しております。

実績紹介

建築、土木、防災・減災の各分野における当社の工事实績を紹介しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会：毎年3月31日
期末配当金：毎年3月31日
中間配当金：毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
(インターネット) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
(ホームページURL)
- 上場金融商品取引所 東京証券取引所 名古屋証券取引所

- 公告方法 当社のホームページに掲載します。
https://www.yahagi.co.jp/ir/public_notice/
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 株式に関する住所変更等のお届け及びご照会について 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。
- 特別口座について 株券電子化前に証券会社等の口座に預託されなかった株式につきましては、左記特別口座の口座管理機関にて記録され管理されております。特別口座に関するご照会等は、左記電話照会先をお願いいたします。
- 単元未満株式のお取扱いについて 1単元(100株)未満の当社株式をご所有の株主様は、単元未満株式の買取または買増請求をすることができます。詳しいお手続き内容及び必要書類等は、左記電話照会先にお問い合わせください。(証券会社の口座で株式をお持ちの方は、お取引先の証券会社にお問い合わせください。)



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

